

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D. キング会長

「ロータリーの心を伝えよう—家庭に、職場に、地域に—」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 9月14日 第716回例会

第2回クラブセミナー 「15周年記念行事」

先週報告 9月6日(木) 第715回例会

第2750地区加来浩二ガバナー公式訪問

東京南・東京新南合同例会〔会場／東京會館〕

卓話 「公式訪問にちなんで」

第2750地区ガバナー 加来 浩二氏
(東京築地RC)



キングRI会長が「ロータリーは今変わらなければならない」ということを強調されておられますので、なぜ変わらなければいけないか、又変えるにはどうしたらよいか、についてお話をしたいと思います。

キング会長は、『人類は私達の仕事』というテーマで、不幸で苦しんでいる人々に救済の手を差し伸べるのがロータリアンの役割でないかということ、ビジネスという言葉で皆に訴えておられます。更にキング会長は、人類という言葉を使って世界のあらゆる問題に挑戦しようとしている志の高い方で、高い次元の奉仕活動をロータリーとして担いたい、そして力を蓄えてロータリーの大きな目標が達成できるようにしたい、との考えを持っておられます。この為にRIは2005年までに会員数を150万人までにもっていき、それも奉仕の気持ちを強く持っている方に参加して頂きたいと考えておられます。

世界的にロータリーは高齢化の方向にあり、やや停滞気味との認識があります。日本でも総体的に減少の傾向にあります。これは若い人にとって魅力がなくなり、地域での存在感がなくなっているからではないかと思われます。

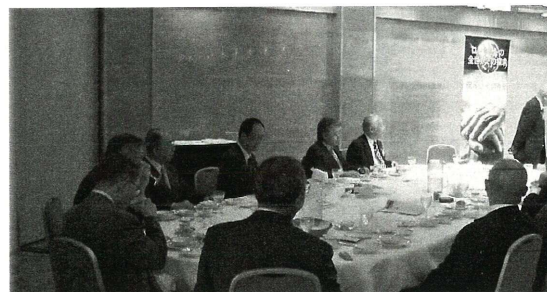
RIはこれを深刻にとらえ、規定の大幅な改訂を行いました。

まず、理事会出席やクラブがスポンサーした地域奉仕に参加した場合、メイクアップと見做すことや、休会日の増加等出席規定の大幅緩和であります。これは伝統的ロータリアンの視点からすれば、納得できない点があるかもしれませんが、ロータリーの21世紀への継続性を考えれば必要な措置と考えております。キング会長は、例会に出席しても何もしない会員より、奉仕活動を熱心に行う会員の方が価値があるとまで言っておられます。この規定緩和は、より多くの方の入会促進を促す目標を示したと言えると思います。

次にニューモデルであります。これは綱領を変えない限り、各クラブが従来の標準定款にとらわれず独自に定款を定めることを認める、というものであります。これを世界の190のクラブで5年間実践し、そこで結果が出ればその成果をRIが取り込んでいこうと考えています。日本では少子高齢化の傾向にあり、我々の2750地区もその影響下にあります。従って、若い会員に入会願う何らかの方策を講じない限り、クラブを維持できないところまで来ております。つきましては特にお願いであります、65才以上の方がクラブを変える責任があると考えて、若い人との融合を図って頂きたいと思います。

キング会長は、親睦は奉仕との連係でなりたっているもので、毎年新しいプロジェクトを起こして欲しいとも考えておられます。私としては2750地区でも、社会奉仕、国際奉仕の場で考えていきたいと思います。具体的にはパシフィックベース内での交流プログラムや新世代委員会で新たにロータリーとして非行問題へどう取り組めるか検討したいと考えています。又、女性会員についてですが、クラブで女性を迎え入れるということは世界的傾向であり、我々の地区でも女性委員会が設立されております。地区としては、クラブを女性に開放するという考え方になっていることを理解して頂きたいと思います。

最後に、歴史ある古いクラブであろうと、新しいクラブであろうと今置かれている環境は共通であります。遅かれ早かれこのままでは済まなくなります。従ってこれからのロータリー運営は、視線を遠くに置いて考える必要があると思います。



例会前(11:00～12:00)に、ガバナー・会長・会長エレクト・幹事懇談会が開催されました。

次週予告

9月21日 第717回例会

卓話予定 「顧客と企業文化」

アルケア株式会社社長

鈴木 克巳 氏

日本盲人経営者クラブ会長

(例会場 / 八雲の間)

大日方真/加来ガバナーをお迎えしての合同例会盛大に開催する事が出来ました。有り難うございます。新保國彦/加来ガバナーの訪問を歓迎して。小杉眞史/田辺さん、めんぼう有り難うございました。合同例会の成功をお祈りします。高須康有/合同例会を祝して。南クラブの皆様お世話になります。福島賢哉/南ロータリーの皆様お世話になります。永澤様下村様お久しぶりです。小杉修造/合同例会でガバナーをお迎えして。入沢頼二/加来ガバナーをお迎えし両クラブの益々のご発展を祈ります。青野信次/合同例会 南クラブの皆様お世話になります。武下朗/加来ガバナーをお迎えして今日は合同例会、南の皆様お世話になります。西澤正雄/合同例会を祝して。鈴木康一/元気に楽しくやっています。山下忠治/石井さん、先日は写真を有り難うございました。荻野道雄/週報担当終えてホッとしています。阪口恒雄/4日の火曜会では皆様の進行ご協力に感謝申しあげます。柴本さん「ざっくばらん」スピーチ有り難うございました。市川徹/今月週報を担当いたします。よろしくをお願いします。

◎ 出席報告 会員69名・出席36名・欠席33名(出席規定免除者6名)

火曜会報告

(出席者：敬称略 順不同)柴本、阪口、市川、加藤、大日方、吉田(用)、吉岡、山根、福島、青野、四分一、川鍋、武下、大山、石井、入沢、新保、本嶋、村山、清原、高須

第3回目の火曜会が9月4日全日空ホテル37Fアストラで開催されました。不安定な空模様でしたが、大日方会長以下21名が参加、ピンチヒッターと言いながらも阪口会員の名司会振りで、火曜会初のいきなり前座トークに市川会員が指名され、海外赴任から体得?された英語のおもしろ単語を披露され、一同爆笑。次に真打ちとして柴本会員より、「ロータリーざっくばらん」と題してお話を頂きました。通算20年のロータリー歴を通してのお話で、ご本人曰く、仕事柄不純な動機で大分RCに入ったが、数多くのメーキャップ巡りをしながら大変多くの勉強になったこと。青少年交換の委員をやった、すばらしさ等、関西弁での柴本さんの温かいお人柄にふれる、すばらしいお話を頂きました。柴本さん、ありがとうございました。二次会も盛り上がり、親睦の輪が更に広がりました。(高須 記)

お知らせ

国際ロータリー理事会決定事項 (抜粋)

RI理事会は、ロータリーの第二の公用標語、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の使用を停止しました。

～「ロータリーの友」9月号より～

「ガバナー月信」9月号は公開されております。

是非2750地区ホームページにアクセスしてご覧下さい。

<http://www.ri2750.org>

国際ロータリー日本サービス・センターの名称が、9月1日から国際ロータリー日本事務局と変更しました。

東京新南ロータリークラブ

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉眞史 〔今週の担当〕市川徹

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

夏から秋へ

数十年振りといわれた今年の猛暑、皆様は如何過ごされたでしょうか。この暑さもようやく峠を越え、待望の秋の気配を風や空の高さを感じるようになってきました。

9月に入ればもう残暑とはいわないそうですが、変動する気温、気圧はこの時期まだ目まぐるしく変化します。暑さに耐え、馴らされた私達の体は、この季節の変化に直ちに反応はしてくれません。

自律神経の緊張と弛緩で私達は体温を調整し、睡眠をとり、食事をし、新陳代謝を上手に行いながら毎日を元気に過ごすことができますが、これを上手に対応できない人々がかなりいます。眠れない、食欲がない、冷たいものの飲み過ぎ、いわゆる冷房病などで不調を訴える人達です。これらは夏ばてと称して間もなく快復しますが、ホルモンの代謝異常などで台風喘息といって気管支喘息の重症発作で苦しむ人や、アレルギー性皮膚炎や蕁麻疹に悩む人もあります。

血圧が変動し易くなり、寒い時よりも高血圧、心臓疾患を発症し易くなる人がいます。嘔吐や下痢、時々頭痛を伴って入院する急性胃腸炎も盛夏より多い傾向にあります。食欲の秋とはいえ、多飲多食には充分ご注意ください。

内臓関係ばかりではありません。海や山の強烈な紫外線のみならず、都市部でもヒートアイランド現象で気温の上昇、紫外線、熱線により皮膚も毛髪もダメージを受けているのです。充分に手入れをして秋の脱毛期に備え、皮膚にしみなどを残さない様にお気をつけ下さい。紫外線は目にも悪影響を与えます。私達の年齢では白内障に要注意です。豊富なビタミンCとサングラスが予防の決め手です。

夏の疲労した体に秋の気配は最高の癒しです。夏バテは9月になってから来るともいわれます。胃腸の働きやホルモンのバランスも徐々にしか回復してきません。季節の変わり目は特に気をつけるよう昔からいられています。

やがて1年で一番良い季節となります。北半球に生存する利点を生かして健康を取り戻し、生活に仕事に充実した日々を、お過ごしくださるよう祈念して止みません。

「めんぼう」投稿のお願い

週報の更なる内容充実を行う試みとして、会員皆様から投稿を頂き、「めんぼう」として掲載し二ヶ月が過ぎました。クラブ内外から大変な好評を頂いております。

投稿して頂いた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

既に、会員皆様をお願いしておりますが、内容は何でも結構ですので、気軽に奮って投稿して頂きますよう宜しくお願い申し上げます。(文字数は1,000文字を目処に、出来るだけワード作成でお願いします。)

投稿先  アドレス

kosugi@fjb.co.jp	(会報委員長 小杉眞史)
tsumuray@fd.catv.ne.jp	(副委員長 圓谷正和)
Hiromtsm@aol.com	(副委員長 本嶋公民)
new-south@h9.dion.ne.jp	(事務局 山中敏子)